

平成23年度 新国立劇場

高校生のためのオペラ鑑賞教室

2011年 7/11[月]1:00 12[火]1:00 13[水]1:00 14[木]1:00 15[金]1:00 16[土]1:00

蝶々夫人

プッチーニ

【全2幕/イタリア語上演/字幕付】

Giacomo Puccini "Madama Butterfly"

台本:ルイーゼ・イッリカ/ジュゼッペ・ジャコーザ 作曲:ジャコモ・プッチーニ

愛を信じ、愛ゆえに
死を選んだ蝶々さんの悲劇。

新国立劇場では、高校生のみなさんにオペラの素晴らしさをお伝えするため、毎年オペラ鑑賞教室を開催しています。今年の演目は、プッチーニの傑作「蝶々夫人」。明治の長崎を舞台に、海軍士官ピンカートの帰りを待ち続ける蝶々さんの美しくも悲しい物語で、日本人に最も愛されている名作中の名作オペラです。ぜひ、この機会にオペラデビューを飾ってください。

＜あらすじ＞ 明治の長崎。アメリカ海軍士官のピンカートンは、15歳の芸者、蝶々さんを身請けし、領事シャープレスの忠告をよそに軽い気持ちで結婚式を挙げる。やがてピンカートンは帰国。愛を信じて疑わぬ蝶々さんは音信不通の夫を、3歳の息子と女中のスズキの3人で帰りを待つ。やがてアメリカで正式に結婚したピンカートンが妻ケートをつれて長崎に。全てを悟った蝶々さんは、我が子をケートに託し、父の形見の短刀で命を絶つ。

指揮: 菊池彦典	演出: 栗山民也		
美術: 島 次郎	衣裳: 前田文子		
照明: 勝柴次朗			
再演演出: 江尻裕彦	舞台監督: 大澤 裕		
7月	11.13.15日	12.14.16日	
蝶々夫人	岡崎他加子	並河寿美	
ピンカートン	村上敏明	樋口達哉	
シャープレス	折江忠道	成田博之	
スズキ	大林智子	山下牧子	
ゴロー	高橋 淳	大野光彦	
ボンゾ	島村武男	若林 勉	
神 官	佐藤勝司	黒田 諭	
ヤマドリ	松本 進	小林由樹	
ケート	渡辺玲美	前田祐佳	

合唱指揮: 三澤洋史
合 唱: 新国立劇場合唱団
管 弦 楽: 東京フィルハーモニー交響楽団
芸術監督: 尾高忠明



全席指定 2,100円(税込) 前売開始: 2011年6月9日(日) お求めの際には、学生証をご用意ください。また、残席がある場合に限り、当日券として4,200円で一般(大人)の方も購入可(高校生以下2,100円)。お1人様1枚限り。新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999
■窓口(ボックスオフィス)にてご購入の場合(営業時間10:00~19:00) 学生証をご提示の上、お求めください。■電話にてご購入の場合(営業時間10:00~18:00) ① 予約日より1週間以内に学生証をご提示の上、ボックスオフィスにてお求めください。② 予約日より1週間以内に係よりご案内の郵便局もしくは銀行口座へお振り込みください。学生証をご提示の上、公演当日ボックスオフィスにてチケットをお受け取りください。■学校単位の団体申し込み・お問い合わせ TEL. 03-5352-5745 鑑賞教室係まで。＊やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。＊公演中止の場合を除き、チケットの変更及び払い戻しはいたしません。

Stage Photo: Saegusa Chikashi

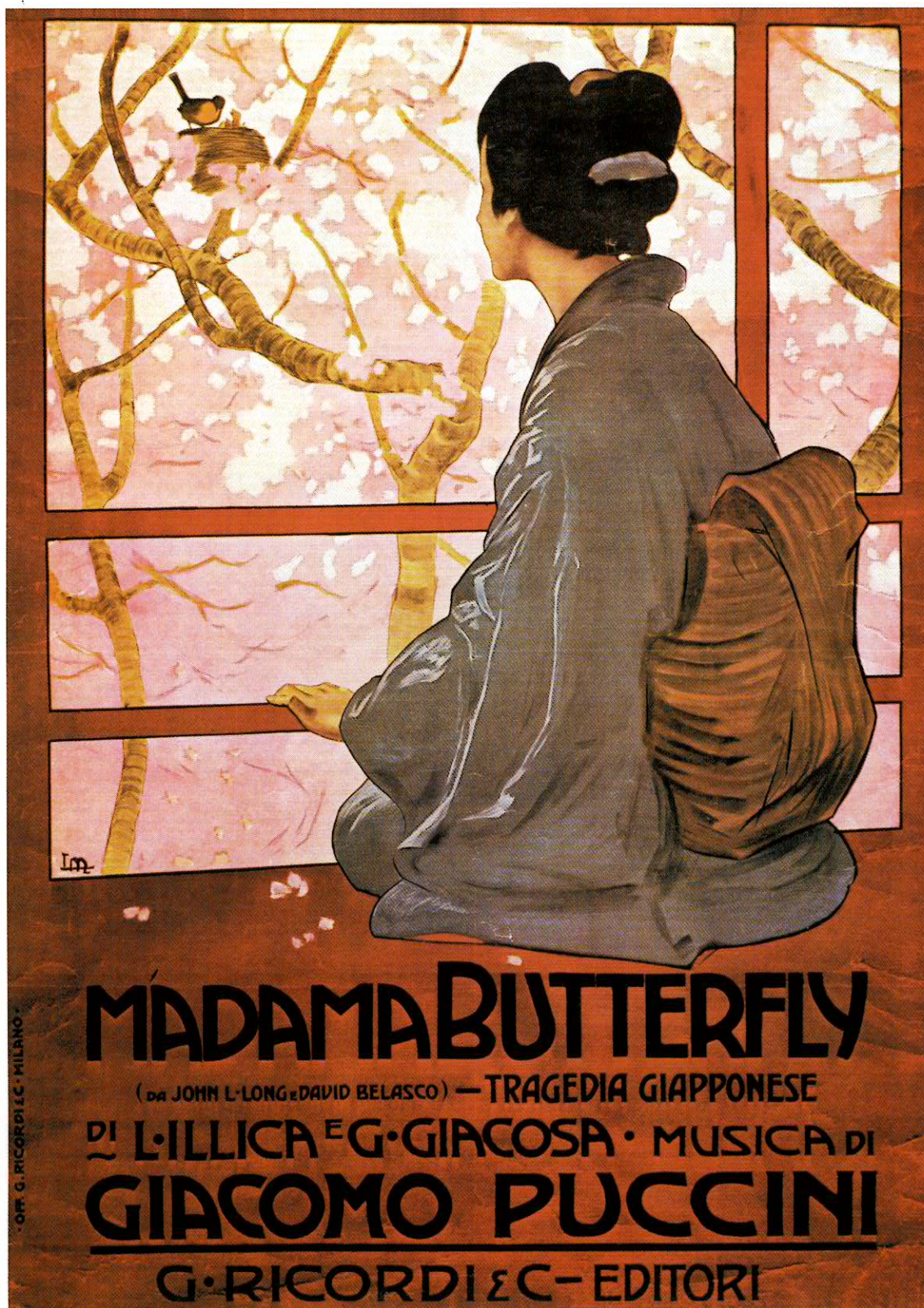


新国立劇場

オペラパレス — OPERA PALACE

<http://www.nntt.jac.go.jp/opera/>

交通のご案内 新宿駅乗り換え 京王新線(都営新宿線乗り) 初台駅中央口すぐ



美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

オペラ「蝶々夫人」初演時のポスター
イタリアの画家 レオポルド・メトリコヴィッツ(1868-
1944)が、1904年に描いた作品で、ミラノ・スカラ座
での初演時に、ポスターとして使用された。
©Bridgeman / amanaimages

Rohm Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

